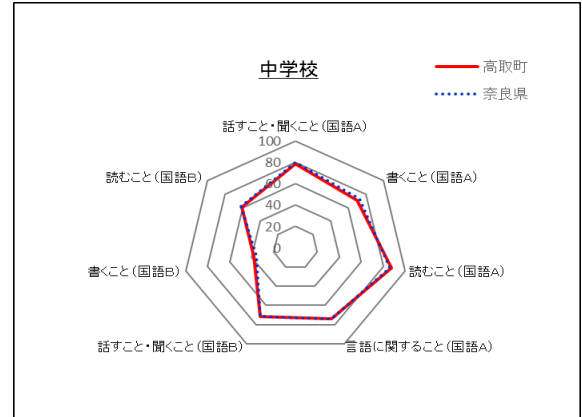
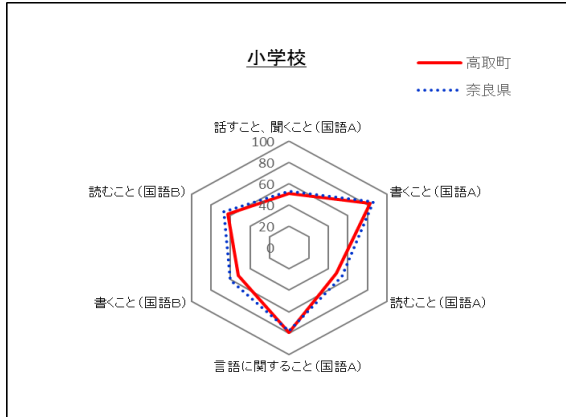
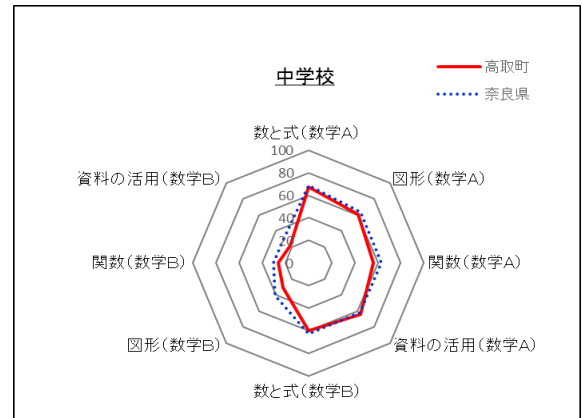
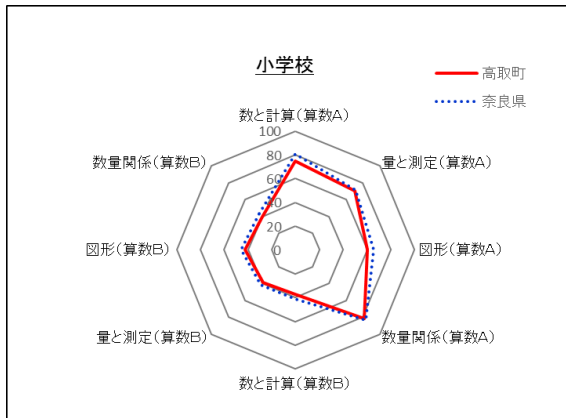


●学力に関する調査

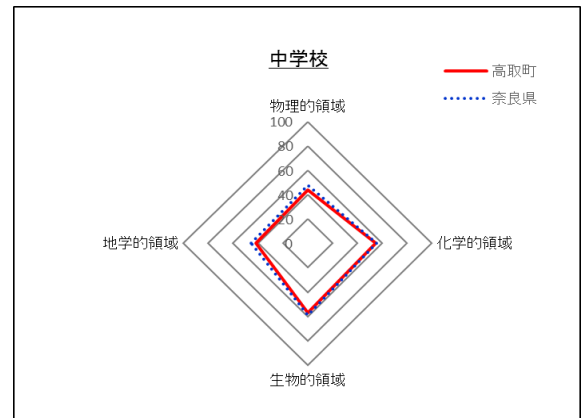
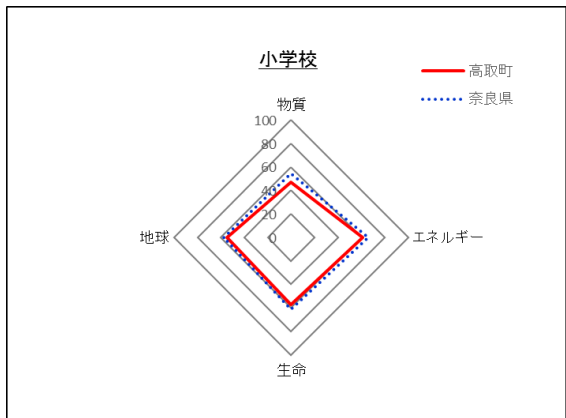
国語



算数・数学



理科



本町の児童・生徒のすがた

- ・小学校は、言語事項をはじめ基礎的基本的な知識技能については、県平均と同様ですが、応用力に課題が見られます。特に、すべての学習の基盤となる読み取る力、書く力が弱いと考えられます。
- ・中学校は、県平均と同様ですが、国語は「与えられた文章から必要な情報を読み取る事はできているが、それらから自分の考えをまとめる事」に課題があります。数学は「図形の問題で、投影図から空間図形を読み取る事はよくできているが、図形の性質を用いて数学的に説明する事」に課題があります。理科では「基礎的な知識は身につけているが、実験結果の予想や正しく説明する事」に課題があります。
- ・小中学校とも、国語の「書くこと」記述式の問題に対する力が弱いと考えられます。自分の考えに自信を持ってまとめたり、周りの人に伝えたりすることに課題があります。

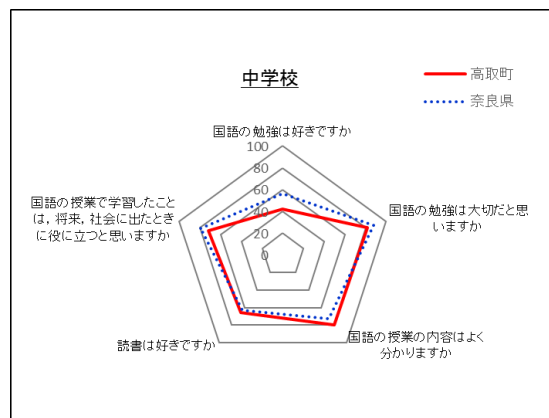
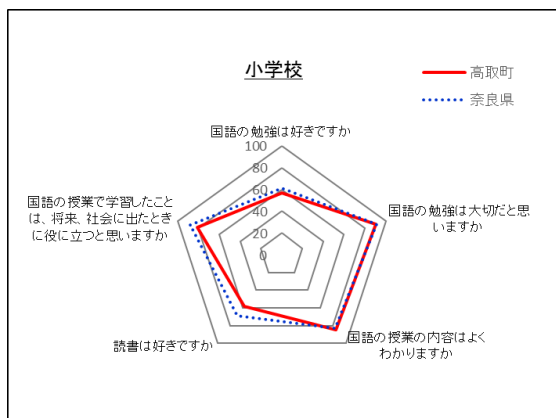
3 課題に対する改善方法

- 小学校は、基礎基本の向上を図るため、継続して朝学習の充実に努めます。また、自分の考えに自信を持てるように、話し合い活動や発表の機会を増やし、多様な意見を出し合いながらお互いの意見を認め合える環境の中で学習できるように努めます。また、家庭学習を充実させるために保護者との連携を密にし、学習内容の連絡を行い、学習習慣の確立を図ります。
- 中学校は、「学校へ行くのは楽しいと思いますか」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の項目が県平均を下回り、一部の生徒は学校で充実感を得ずに生活していることを感じます。学校が、生徒一人ひとりの特性を見つめ、キャリア教育等で特性を伸ばし、社会で活躍できる力の育成を更に充実させます。
- 小中学校とも、基礎的基本的な学習の定着をこれまで以上に充実させ、学級やグループの話し合い等で自分の考えを深めたり広げたりできる授業づくりを進めていきます。また、実生活と学びの関係を実感できるように家庭や地域の方々と連携を深めた教育の推進を心がけていきます。

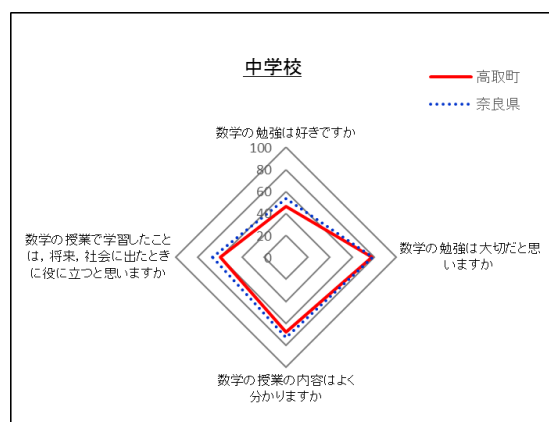
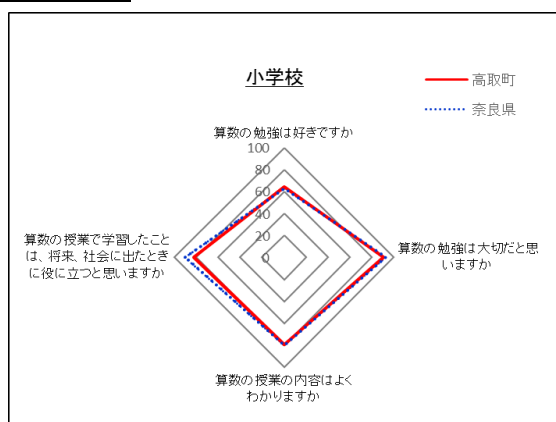
参考資料

●学習状況に関する調査（抜粋）

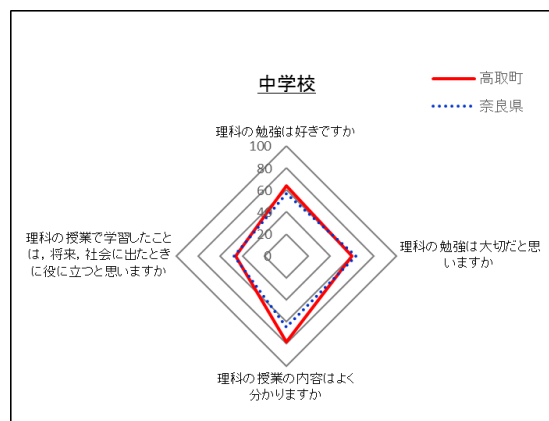
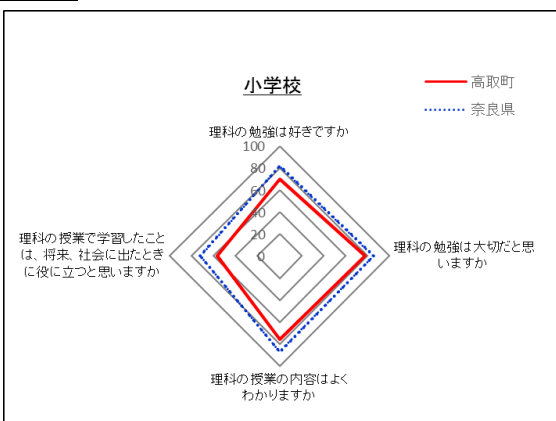
国語



算数・数学



理科



本町の児童・生徒のすがた

- ・小学校は、「読書が好きですか」や理科に関する意識調査項目の結果が、県に比べて低くなっています。理科については児童の興味関心を高め、主体的に学習する授業が課題であると考えます。
- ・中学校は、落ち着いた学習環境で学習に取り組む事ができ、基礎的な知識も概ね身につけています。一方、その知識を活用し、自分の考えを持って適切に判断し、わかりやすい表現で伝える力に課題があります。
- ・小中学校とも、各教科の学習が「社会に出て役立つか」という項目が、県に比べて低くなっています。そのことから、学習本来の意味の理解や、自ら取り組むという積極性に課題があると考えられます。